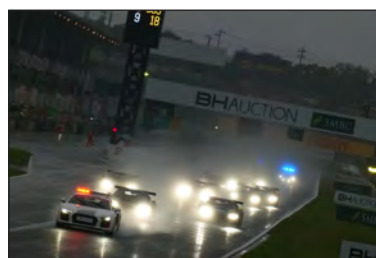
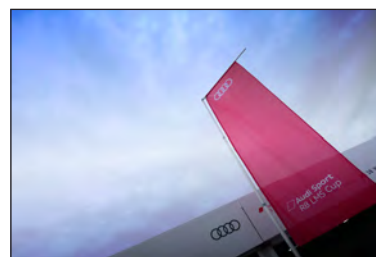


REPORT

2019.8.23-24 Audi Sport R8 Cup Rd.7-8 レースレポート

全セクショントップタイムを記録し、Rd.7 / Rd.8 連続優勝

2019年8月23日～24日に鈴鹿サーキット(所在地:三重県鈴鹿市)で開催された“Audi Sport R8 Cup”第7戦・第8戦に参戦しました。フリープラクティス・予選・決勝でドライ・ハーフウェット・ヘビーウェットと路面状況が変化する中で終始安定した走りで行ったGT4クラス全セクショントップタイムを記録し、第7戦・第8戦共にクラス優勝となりました。



フリープラクティス

22日(木)のフリープラクティスでは45分間の走行がドライコンディションの中で2回行われました。今回のレースタイヤはこれまで国内テストで使用してきたピレリタイヤと同スペックでしたが、まずはメーカー推奨セッティングから走行を開始しました。そこからピットインとセッティング変更を繰り返すと共にトラクションコントロールなどの電子デバイスのデータ収集も同時並行で行われました。また、スポット参戦のために通常よりも多くのウェイトを搭載したことでのタイヤへの影響などこれでのテスト走行からより実戦向けのデータ収集ができました。

REPORT

2019.8.22-24 Audi Sport R8 Cup Rd.7-8 レースレポート

予選 (第7戦)

23日(金)の公式予選は第7戦・第8戦のグリッドを決めるために短いインターバルの中で行われる予定でしたが、前日と打って変わって終始ウェットコンディションに変化し、第7戦の予選だけが行われました。ウェットタイヤに対してサスペンションのセッティング変更のみでコースインし、コクピットに標準搭載されているトラクションコントロール・ABSといった電子デバイスのセッティング変更による挙動変化を試しながら GT3 クラスにも迫る 2' 31" 347 のタイムでポールポジションを獲得しました。

決勝 (第7戦)

第7戦決勝はコースのいたるところに川ができるほどのヘビーウェットのコンディションの中でスタートしました。GT3 マシンと違って市販車の R8 に近いボディワークの GT4 は高速域でのダウンフォースで不利なこともあってバックストレートなどではハイドロプレーニング現象になりながらも終始安定したレース展開で、見事 GT4 クラス優勝となりました。

予選 (第8戦)

前日の悪天候で延期され、24日(土)の第8戦公式予選はドライコンディションで行われました。スポット参戦ウェイトに加えて、第7戦のサクセスウェイトが加算されたことで決勝を見据えてタイヤを労ってのタイムアタックでしたが、2' 15" 580 と後続を3秒近く離しての連続ポールポジションを獲得しました。

決勝 (第8戦)

30分+1周というレースディスタンスの決勝でした。今回の参戦は今後 R8 LMS GT4 でスーパー耐久などのレースに参戦されるカスタマーチームへのデータフィードバックを目的としていましたので、タイヤの摩耗具合とそれによるマシンの挙動変化のデータ収集をしながらのレースでしたが、一度も後続のマシンにポジションを譲ることなく前戦に続いての GT4 クラス優勝となりました。

田ヶ原 章蔵 選手のコメント

昨年から R8 LMS GT4 のテスト走行を担当させて頂き、カスタマーの皆さんに向けたデータ取りの職務をこなしながら、今回はより深い内容を探るべく実戦にて走る事になりました。走るからには沢山データを取り、その結果が今後の R8 LMS GT4 の販売に繋がれば良いですし、Audi sports customer racing japan の皆さんと2連勝出来て正直ほっとしてます。久しぶりに古巣のメンバーでの参戦も楽しめましたし、本国の Audi 仲間、アジアの Audi 仲間とも仕事が出来て感謝で一杯です！ありがとうございました！引き続き、Audi ブランド向上の為に、ポテンシャルのある Audi レーシングカーの販売に協力できるように邁進して参ります！来年、是非に皆さん、Audi で参戦してくださいね。

